

大島郡知名町瀬利覚2362番地

調 查 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調查委託業務

調査位置

ボーリングNo

事業・工事名

No. 1

ボーリング名

シートNo

緯

北

		7 10			11	0.	1		初且吐				$\overline{}$	1177	על לוני	~µ	-1 NA 7-1 7E	2 3 0 2 雷 坦				10				
ž	主模	幾関							知名町							令 和	1 2年 3月	13日 ~	2年:	3月 1	6 日					
	業	者 名				99-		8 -	0956) 土性技師 松	山拿	衰 高		現代	理	場 ! 人	末	: 吉哲也	コ ア 鑑 定 者		山義高		ボ-リング 責 任 者	胸	元	泫	兹
	コ 模	票高	51	1.49m	角	180° 上上	<u>\</u> 90		方 北 0° 地 270° 90° 盤 鉛 西 東 勾 直 向 180° 南 配 90°	水平(0°	使用			機	吉	田鉄工製	Y B M - 0		ハンマ 客下用		半自動	落 下	、装	置	
j	囯 近	進 長	1	8.00m	度	下 0°	ナ		西 南 180° 南 配 90°	水平(機 種	エ	ン:	ジン		ヤンマー	·製 NF9	0 7	ポン	プ	吉田鉄工	. 製	G P	. – ?	3
											71														$\overline{}$	
	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔内水		I		1	標	準貫フ	、試験					<u> </u>			室内
					質		対	対			水位	深	10cm 打		4			N 値			深	試 験 名 および結果	深	試	採	試験
	高	厚	度	状	区		宓	稠			(m)	度	0		数						度	(度	料	取	$\widehat{}$
							伍	7月			測定		7	}	八									番	方	
	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度		事		月日	(m)	10	20	30 am	0	10	20 30	40	50 60	(m)		(m)	号	法	<u> </u>
					玉石混 じり砂	灰~暗茶			表層4cmはアスファルト。 全体に10~20cmの石灰岩柱状コアが 玉石状に混じる。 玉石間は、砂質土で成る。 N値は礫障害のため過大。	が			-		60											
	50.19	1.30	1.30	0.000	0 7 110	灰			玉石間は、砂質土で成る。 N値は礫障害のため過大。 			1.00	果	入不	能 0											
				0,000	粘 土		中		φ5~40mm石灰岩礫主体。 上部の粘土は半固結状。			2.15	3	3	$\begin{array}{c c} 4 & 10 \\ \hline 30 \end{array}$	10	4									
					質砂礫	褐	位		上部の粘土は半固結状。 下部は粘性が大。			2.45 3.15	5	7	5 17 30								.			
	47.89	2.30	3.60		傑							3.45														
				0.000	砂	淡黄	中		φ2~30mm石灰岩礫主体。			4.15	7	4	4 15 30	15	6									
					礫	灰	位		ほぼ均質である。			5.15	11	5	2 18 30	18)								
	45.69	2.20	5.80			淡						5.45 6.15	2	1	2 5 30								.			
					粘土混 じり砂 礫	黄灰	緩い		φ2~40mm石灰岩礫主体。 含水量が多く緩い。			6.45	1	1		5										
	44.19	1.50	7.30	0.0.0								7.15	1	1	1 3 30	3	d									
								軟ら				8.15	1	1	$\begin{array}{c c} 2 & 4 \\ \hline 30 \end{array}$	4	\									
								かい				9.15	1	1	$1 \begin{vmatrix} 3 \\ 30 \end{vmatrix}$	3					-					
									全体に風化が進み粘土化している。			9.45 10.15	2	2	2 6		1									
					粘 土	茶褐		位 ~ 非	10m付近は含水量が少なく、ややかたい。 11m付近は含水量がやや多く、軟弱			10.45			30											
								常に	である。 12m付近以下は、砂分が混じり、一部 で砂混じり粘土状である。	部		11.15	1 15	1/15	30	2	•				-					
								軟ら、				12.15	1	2	$\begin{bmatrix} 2 & 5 \\ \hline 30 & \end{bmatrix}$	5										
								かい				12.45 13.15	,	1	2 4								.			
	37.79	6.40	13.70									13.45	_	17	11 33	4										
				0.0.0	砂礫	黄褐	密な		φ2~20mm石灰岩礫主体。 礫間は粗砂。 下部は、若干の粘性と水分を有す			14.15		11	30	33		0								
	36.29	1.50	15.20	× × ×					<u>්</u>		3/17 15.40 —	15.15 15.24	60/9		9	200				\rightarrow						
5				^^^^	6 ⊐				基盤岩。堅固層。			16.00 16.00		入不	能 0	1				->			.			
				^^^^	緑色岩	緑灰			全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。 コアは5~15cm程度が主体で成る。	E		17.00	貫	入不	能 0											
				^^^	71				亀裂集中部では、礫状を呈する。			17.00			60											
	33.49	2.80	18.00	^^^						$+ \mid$		18.00 18.00		入木	能 0	1				->	-					

19

大島郡知名町瀬利覚2362番地

調査期間 令和 2年 3月 17日 ~ 2年 3月 19日 東

調 查 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

調査位置

知名町

ボーリングNo

事	業	I	事	名
	\sim	_	_	· H

No. 2

ボーリング名

発 注 機 関

シートNo

緯

経

北

	/ _	以一大	'						W 1 -1				17-3	Δ,	143	7H 2 —	0 / 1	I . H		_ ,	0/1		_ _	小工						
淍	業	者名	i	ユニ電					主社	松山	義	高	現代	理	場人	末吉哲	也	コ 鑑 定	ア 者	松	山義品	与	ボ- 責	リンク 任 者	ŕ	胸	元	泫	Ź	
Ļ	ᄆᆥ	票高	J 50). 95m	角	180° 上	\ 9i		方	๙ 水斗	平0°	使用	試	錐		吉田鉄コ	製			型	ハンマ 落下用	具		半自	自動	落下	、装	置		
<u> </u>	掘	進 長	2	3.00m	度	下 0°	ア <u></u>		270° — 90° 盤 勾 向 180° 南 配	針 直 90°		機種	1_	ンジ	ン	ヤンマ	<i>7</i> —	製N	F 9 0		ポン	プ		吉田	鉄工	. 製	G F	· - 3	3	_
Ę.	標	層	深	柱	土	色	相	相			孔内				標	準 貫	入	試	 験			原	位	置 試		試米	—— 斗採	取	<u>室</u> 内	排
					質		対	分			水位	· 沙巴	10cm	ごとの	打撃				<i>t</i> -ta			深	試		名	深	試	採	試	ď
	高	厚	度	状	具						(m)		20 20	Mc/ .			N	<u>値</u> 一				お /	よび糸	5果		料		験(
					区		密	稠			測定	2	}	\ \ \ \ \	/ 貫]							度				度	番	方		1
)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		月日	(m)	10	20 30	量 (cm)	0 10	2	20 3)	40	50 6	(m)				(m)	号	法	<u> </u>	
1													1																	
1							緩					1.45	30	+	30 1															
2					盛土	黄 茶	\ \ \		φ2~50mm石灰岩礫主体の盛土 粘土分が混入する。 締まり具合にバラツキがある。	· ·		2.45		4 5	15 30 1	5	P									-				
3						灰	中位		締まり具合にハフノキかめる。 			3.15		1 5	7 30 7											-				
4												4.15	4	4 5	13 30 1	3	D									-				
5	45.95	5.00	5.00	0.0.0								5.15	1	1 22	2 32 2								-			_				
6												5.47 6.15		5 6	15								-			-				
7				0.000								6.45 7.15	_	5 3																
0				0,000								7.45		2 6	30 1	5	Þ													
8												8.45			30 9															
9									全体にφ2~50mm石灰岩礫主体			9.45		2 1	30 8	<i> </i>										-				
0				·/···			非常		粘土分混入量が変化しており、 質砂礫と粘土混じり砂礫が互層			10.1		2 2	6 30								-		= = = =	-				
.1					1/口		に緩い		なす。 N<10は粘土質部、N>10は粘土 り部の傾向がある。	に混じ		11.1	3	4 2	9 30 9								-			-				
.2				0.000	土 混 じ	黄茶	~ 中 位		全体に土質に大きな変化はみらい。 部分的に15cm石灰岩柱状コアか			11.4		5 5	16 30 1	6	\						-			_				
.3					り 砂 礫	灰	· 緩		る。			12.4	0	2 5	9								-							
14				0.000	15%		い ~ 中		9.7~10.0m間と16.6~17.3m間 進用具が落下した。 ごく軟弱部もしくは空洞と推察 る。	察され		13.4	6	7 2																
				.0.00			位		15mのN値は礫障害のため過大。 17.5m付近は礫分が少ない。			14.4	5 21	39	15 30 1 60	5	8													
15												15.1 15.3	1	9	19 9.	5						N								
16												16.1		2 1	8 30 8							1	-			-				
17				0.000								17.4		3 4	8							-				-				

16 30 16

 $\begin{array}{c|c}
12 \\
30 \\
60 \\
0
\end{array}$ 12

7

5

入不能

【入不能

2 2 6 30

2 3 5

18.15 18.45

19.15

19.45

20.15

20.45

21.15

21.45

23.00 23.00

2/20 20.70

27.95

18

19

20

21

22

23

24

31.55 14.40 19.40

2.20 21.60

1.40 23.00

緩

灰中位

粗粒砂主体で、粘土分やφ2~15mm 礫が混じる。 全体に含水量がやや多い。

基盤岩。硬い。堅固層。 全体に亀裂が多い。5~15cm柱状コ アと片状コアが混在する。

淡 緑

緑

灰

土

混 じ

ŋ

色 岩

大島郡知名町瀬利覚2362番地

調 查 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

調査位置

ボーリングNo

事	業	•	工	事	名

No. 3

ボーリング名

本の 1	È ;	主	幾 関							知名町			訂	司 查其	明間	令	和	2年	3 月	1	8日	~	2年	3 /	1 2	1日	東		経					-
1	垄	業	者名	i		電話 ()	099-		8 - (0956) 土仕坟師 松上	山義高		玛	も理	場 人	i	末	吉哲	也	组	立 定	ア : 者	朼	_							茂オ	†	朗	
1	-	□ †	票高	50). 67m	角 		\rightarrow 9		方	k平0°	使用機	討	錐	機	Ī	吉田	出 鉄	工製	₹ <i>1</i>	Y B M	- 0 8	5型	落	下用	具		半	自身	動 落	下	装 置	<u>.</u>	
1	-	屈立	生 長	2	5.00m	度			ı	m p a 直 f m n m go ^o		種	ı	ニンシ	ブン		د	ヤン	マー	- 製	N	F 9 0)	ポ	ン	プ		吉日	日鉄	工事	A A	G P -	3	
		標	層	深	柱	土	色	相	相	記							美 <u>注</u>	準	貫う	入	試	験				原	位	置	試!	験試	料	採取	宝宝	-
1						質		対	対		位	休			Į.	撃				N	0	値				深							試験	
10 10 10 10 10 10 10 10		高	厚	度	状	区		密	稠		/	度		1 1	20	数 /				_						度					Ŧ			
### 10		(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月		10			入	٥	16		00	0	0	40	50	60	(m)) (n				
											H		60				0	10)	20	3	0	40	50	ьс									_
展	1									구応박 <u>이라</u> 로 있었다. 첫 사이 가수나		1.12	60			60	00								>									
	2					石	黄			コアが残る。 上部から4.5m付近までは砂礫状を呈する部分が多い。		2.01				18																		
#	3					岩・	淡淡	に 密		3m付近は風化のため、傈分が少ない。					- 1		0								<u></u>									
日本	4					傑		14		目立つ。		4.37			- 1	60	2								\rightarrow									
日本	5											5.00	60												>									
1.80		44.27	6.40	6.40			淡	AUT.									00								<u> </u>									
1.08 1.00 2.88 2 2 2 2 3 3 4 4 3 5 1 3 3 4 4 3 5 1 3 3 4 4 3 5 1 3 3 3 4 4 4 3 5 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3	`	42.87	1.40	7.80		砂				風化部。石灰岩礫はやや脆い。				3	2	8/30 8	3	9																
40.57 1.08 2.88 2.8 2.8 2.8 2.8 2.8 3.5 2.1 1 5.0 4 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.		41.87	1.00	8.80		粘土質 砂礫	黄褐	非常に緩い		φ2~20mm礫主体。含水量が多い。 粘性は大。			45				ı Z									=	-							
1		40.87	1.00	9.80	0.00	11/2	淡黄灰	密な		φ5~30mm礫主体。 若干の粘土分が混じる。					- 1	30 3	5					>												
	11 22 33 44 55 66 77 88 99					粘土質砂		常に緩い~緩い~中位~緩い~非常に緩		る。 礫分の混入量が若干変化するが、土 質に大きな変化はみられない。 14m付近と19m付近は、礫分がやや多い。 15mのN値は、礫障害のため過大。 20m付近と22m付近は、礫分がやや少		10.45 11.15 12.48 13.15 14.45 15.15 16.45 17.45 18.15 19.45 20.49 21.15 20.49 21.15 21.45 21.25 21.24	2 1 18 5 5 10 10 1 4 4 7 7 14 14 3 3 8	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	2 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	3 3 3 5 5 7 7																	

入不能

入不能

60

60

25.67

2.00 25.00 ^^

24

25

緑色

岩

灰

基盤岩。堅固層。硬い。 全体に亀裂が多い。片状〜短柱状コ アが主体をなす。

大島郡知名町瀬利覚2362番地

調 查 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

調査位置

ボーリングNo

事業・工事名

No. 4

ボーリング名

シートNo

緯

北

所	: ‡	屈道	基 長	. 16m 2. 00m	度	上 下 0°) 9	270° 90° 盤 鉛 面 同 180° 南 配 90°	水平0° ブ	使 用 機 1	<u> </u>	こン:	ジン			ヤンマー	- 製	NF90	アダニ 落下用ポン			吉田鉄	工製	Į G	P -	3
La						色		記		为 <u></u>			数	打撃回	票	準 貫 フ					試	験	名 深	活	採	
10 1 1 1 1 1 1 1 1 1						調		事	月月	型 包 目 (-	`	}	20	/ 貫入量										番	方)
	1									·					0	10	20	30	40 50 6	50 (111)			/ (111,			
1	2				石灰岩、砂礁		な ~ 中	石灰岩の弱風化部で、短柱状コア涯じりの砂礫状を呈する。 1m付近は若干の粘性を有する。 2m付近は短柱状コアで成る。 3m付近はり2~20mm礫主体。		1.4 2.0 2.0	45 600 4 00 4 04 18		8	39 30	150											
株上版 版	5			.0.0.	.,,	黄灰~自		φ2~20mm石灰岩礫主体。 ほぼ均質な締まり具合である。		4.4 5.1	45 15 12	9	6	27 30				0)								
型し 接 中	6 7	43.46	1.90			黄	位 ~ 緩	全体に若干の粘土分が混じる。 φ5~50mm石灰岩礫主体。		6.4 7.1	45 15 4	1	4	9												
1	9	41.16	2.30		じり粘土質	褐		半固結砂状。一部で砂礫状。 砂は指先力で潰れるものが多い。		9.1	45 15 5	3	4	12 30			Þ									
	1 2 3 4 5 6 7 8					褐灰~褐	な~ 中位~ 密な~ 中位~ 非常に密	大径40mm。 礫分や粘土分の多少でN値に差異が みられる。 土質に大きな変化はみられない。		10. 11. 11. 12. 12. 13. 13. 14. 15. 16. 17. 17. 18.	45 8 45 000 29 18 45 15 45 15 2 45 15 2 45 15 3 45 45 15 3 45 15 3 45 15 3	3 31 8 3 3 5 5 3 3 0 7 10	3 5 221 16 6 7	19 30 60 18 12 30 13 30 13 30 48 30 16 30 20 30	119 112 113 126 448											

調 查 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo

事業・工事名

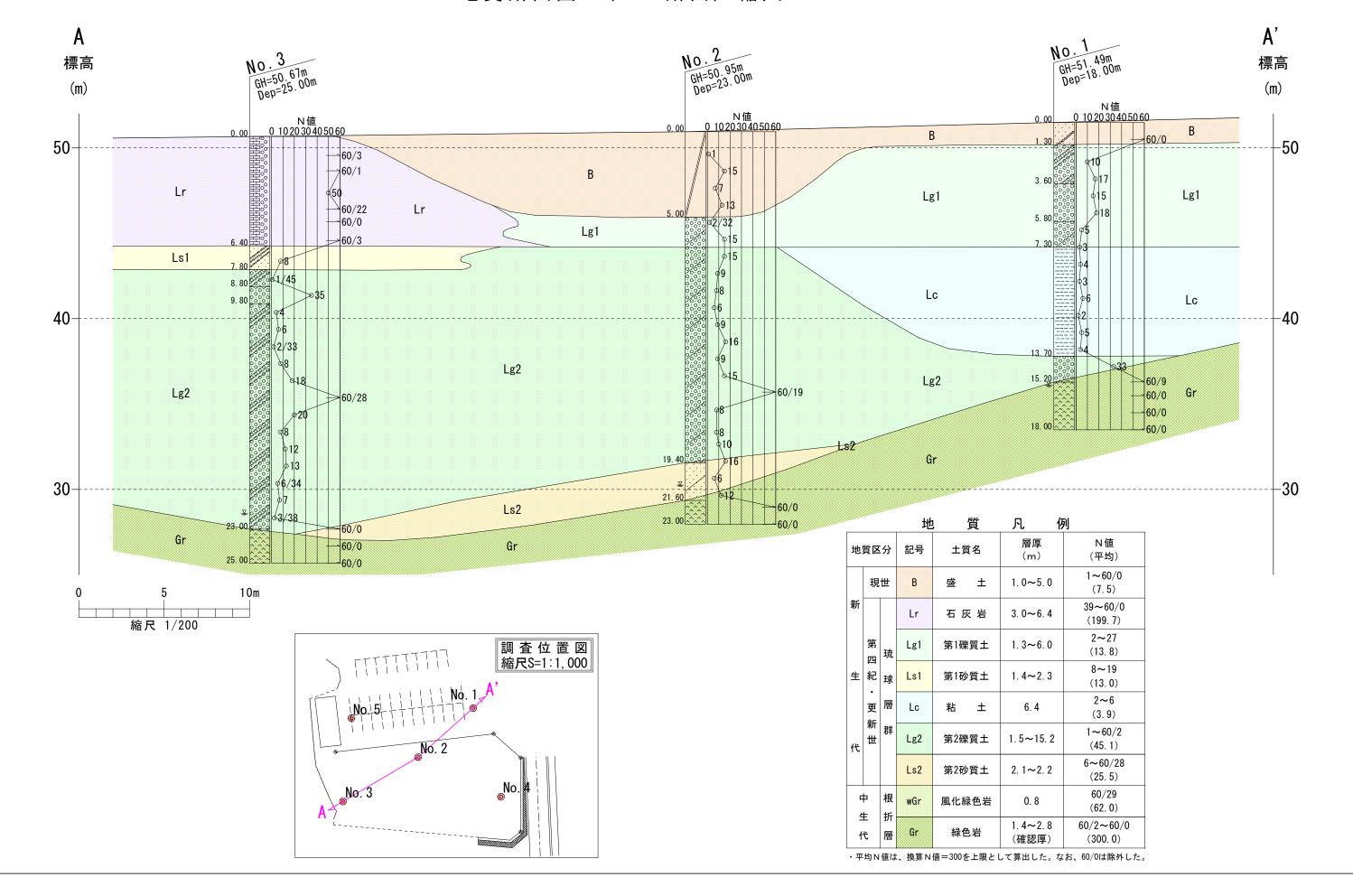
シートNo

																				_			シート	I NO					
ボー	- リン	ノグ 名	i		N	o. 5			調査位置	1		J	大島	郡 知	1名町	瀬利	覚 2:	362看	昏地				北	緯					
発	注	機 関							知名町				凋査其	間	令和	2年 3	3月	23日	~	2年	3月 2	7 日	東	経					
調	* 業	者名	1	ユニ					社 956) 主任技 師	ħ	松山義高	王 イ	見 弋 理	場 人	末	吉哲也	<u>h</u>	コ 鑑 定	ア 者	松	山義高	ĵ	ボ-リ 責 倍	リング £ 者		茂	木	朗	
孔	口右	標高	5	51.56m	角	180° 上	∑ 90	, J	方 北 0° 270°	地盤	使		式 錐	機	吉!	田鉄工	製	YBM	- 0 5		ハンマ 落下用			半自	動落	下	装置		
総	掘	進長	2	25.00m	度	下 0°	Γ	F	西 東 東	盤勾配	本平0° 用 機 機 9 0° 種	<u> </u>	ェンシ	ジン		ヤンマ	· — ‡	製 N i	F 9 0		ポン	プ	Į	吉田 銵	夫工	製	G P -	3	
			1								71											I							_
標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔 内				標	準 貫	入	試	涣			原	位置	置 試	験訁	式料	採取	室内	掘
					質		対	対			111/)cmごと ・撃回	手	了 達 司		1	V	値			深	試およ	験が結		深	試 採	八試験	進
尺	高	厚	度	状	区		密	稠			(m) / 測	-	10 2	数 / 数 / 页	女				<u></u>			度				度	料取番方		 月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		測 ^皮) 1	0 20 3	시칠		10	20	30	1 2	40	50 60	(m)					号 法		日
				0.0.0												Ī	Ī		-										

尺	高	厚	度	状	7		,,,	/.,			(m)	1	丁撃	回数	り 回数										1	っよい結果		料	取	映	~
	11-1	7	12	,,,,	区		密	稠			/ 測	度	0 1	0 2	0 数/ 貫									度			度				月
	()	()	()		/\	⇒m	rte.	nt-			定月		3		入島													番	方		
(m)	(m)	(m)	(m)	図 0:0:0	分	調	度	度	事		日 ((m)	10 2	0 3	0 (cm)		0 1	.0	20	3	0	40	50 6	(m)	1	<i>)</i>	(m)	号	法		日
				0.0.0	ale I.							1.10	2	1 1	4																-
				0.0.0	粘 土 混	淡	緩い		表層はアスファルト4cm。			1.40	+		30	4	9														3
2					じり	茶褐	~ 中		表層はアスファルト4cm。 以下、φ5〜40mm石灰岩礫主体。3m付近は礫径が小さい。 上部の粘土は硬い。2m付近は粘土分が少ない。				0 2	2 4	6 33	5	4														23 =
3				0.0.0	砂 礫	13	位		が少ない。			2.48 3.15	4	1 5													_				
	47.46	4.10	4 10									3.45	14 2	1 2				0		_											1
± 4	11,10	1.10	1.10								4	4.15	60	1 2	5 60 24 60 3	75								→							
5					石灰	茶褐	非常		上部はやや風化し茶褐色の砂礫状を			5.03				000								>							dimi
6				13000	岩・	~	に密		なす。 5m付近以下は、5~10cmの短柱状コアが多くを占める。		(6.00	2		60/2	900								>			-				
7					礫	灰	な		7 % 9 \ C W \ O 0				60 2		60	900								>							11111
	43.96	3.50	7.60	事。								7.02												1							3 = 24 =
8												8.15	9 7	7 9	25 30	25				<							-				24 -
9				0.000									6 1	4 2	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	43						\Q					-				
10				0000								9.45	5 1	0 4													_				1
				0.00								0.43	60	8	60								_	→							
F 11				0.0.0			中位~					1.10	2		2	900								>							hin
12				0.000		淡黄	非常		石灰岩の風化部で、風化度合いによりN値にバラツキがみられる。		1	2.15	$\frac{3}{18}$	3 5	5 11	8						1					-				
13				0000		灰 ~	に 密		りN値にバラツキがみられる。 11m、13m、16mは風化石灰岩コアで成			2.58 3.00 3.02	2	5	60 2	900						-		>			_				1
				0000	砂 礫	淡茶褐	な ~ 中		る。 この他は、砂礫状で、φ2~30mm礫が 主体をなす。				10 1	6 1	0 00																3 = 25 =
F 14				0.000		~ 黄	位~		部分的に粘土分が混じり、15m付近 は混入量が多い。			4.15	12 1	6 10	0 38 30	38					G										30
15				0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.		茶灰	非常		12m付近と18m付近は含水量がやや多いため、締まりがわるい。			.0.10	15 1	8 19	30	52							Q				-				
16				0.000			に密な				1	6.00 6.03	3		60	600								→			-				
17				0.000			1,5						8 2	6 2	6 60																1
17				0.000								7.15		6 20	6 60 26	69							_	>							lundi
18				0.000								8.15	4 3	3 5	30	12		œ<									-				
19				0.000							1	9.10 9.12	2		60	900								>			-				
20	31.96	12.00	19.60		礫						9.80		8 7	7 5	5 20																3 26 -
E 40					味混じ	緑黄	中位非にな		全体に φ2~30mm礫が混じる。 下部では半固結砂状部がみられる。			20.45	+		30				0												
21	29.86	2.10	21.70		り 砂	灰	密な		1 日10 く134丁四州1011/174八日11/17475 124 120。			21.15	20 1	5 25	5 60 3 28	64								/*							
22					粘土混 じり砂 礫	黄褐灰	非常に密な		φ2~20mm礫が主体で成る。 下層の強風化部。				10 1	8 3:	2 60	62								-							
E 23	29.06	0.80	22.50); 0, 0; 1 ^^^^	床	黄茶	15				2	22.44	2	1	2 60 29 60 2 29	900								→							1
				^^^^	緑 色	※~ 灰			基盤岩。堅固層。 全体に亀裂が多く、片状〜短柱状コアが主体をなす。			23.02		1	60																
24				^^^	岩	~ 緑			上部は風化し、やや脆い。 24m付近は硬いが、下部は潜在亀裂 を有する。		2	24.00	<u>東</u> 刀	人 本能	60									>							-
25	26.56	2.50	25.00			灰					2	25.00 25.00	重刀	八 不能		-			\perp					>							3 27
																															1 1

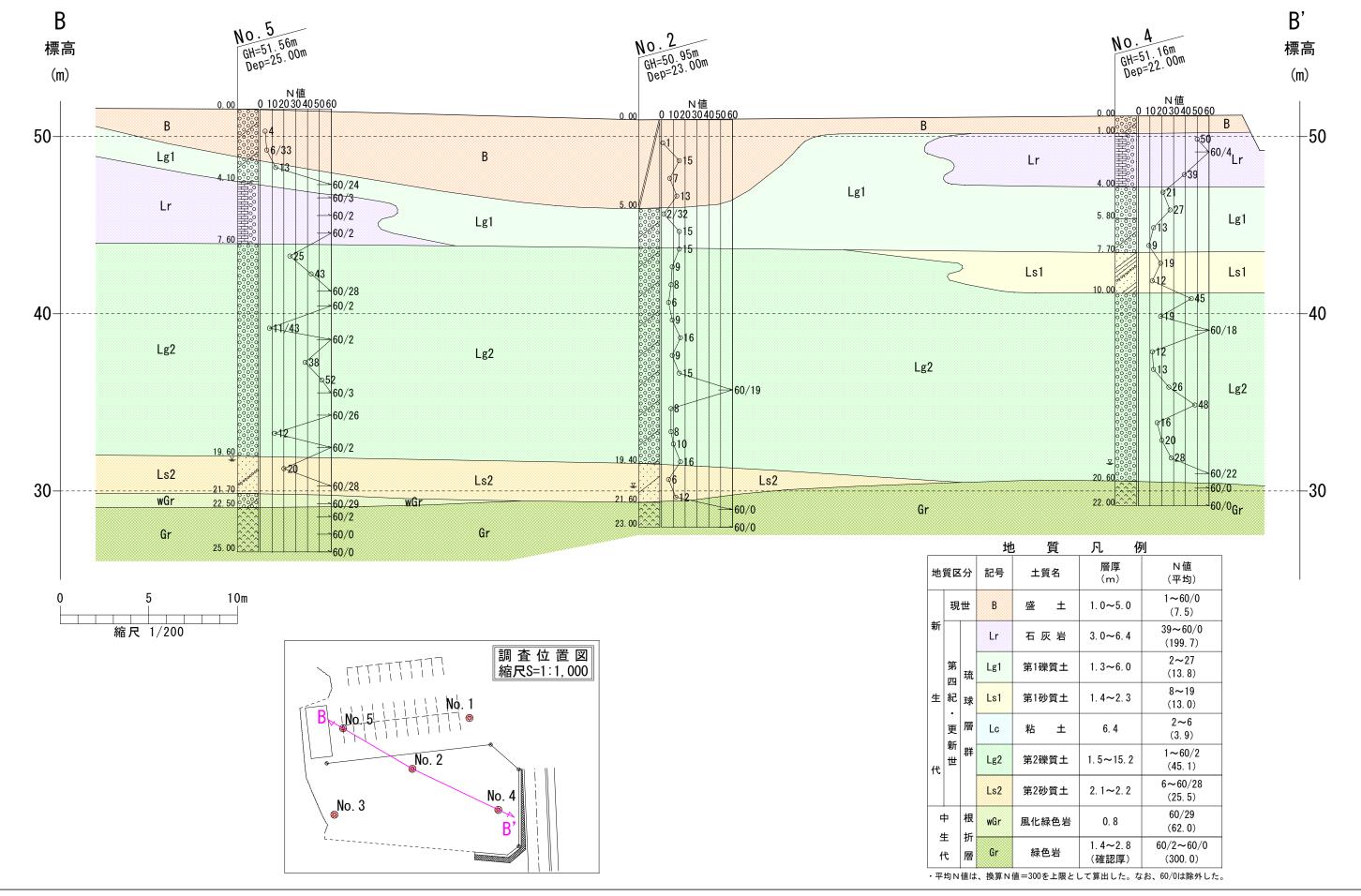
令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務 地質断面図-1(A-A'断面)縮尺 S=1:200

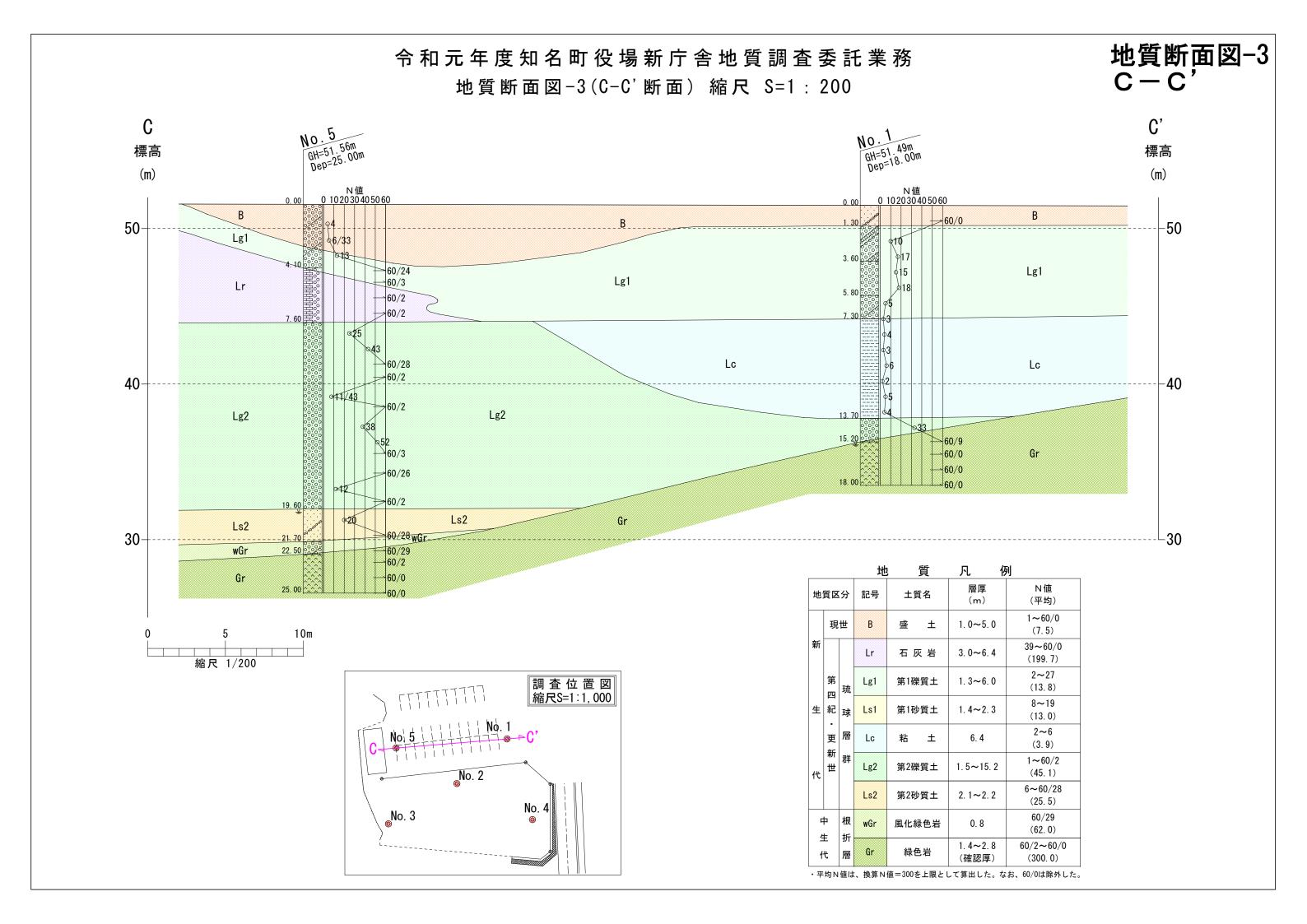
地質断面図-1 A-A'



令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務 地質断面図-2(B-B'断面)縮尺 S=1:200

地質断面図-2 B-B'

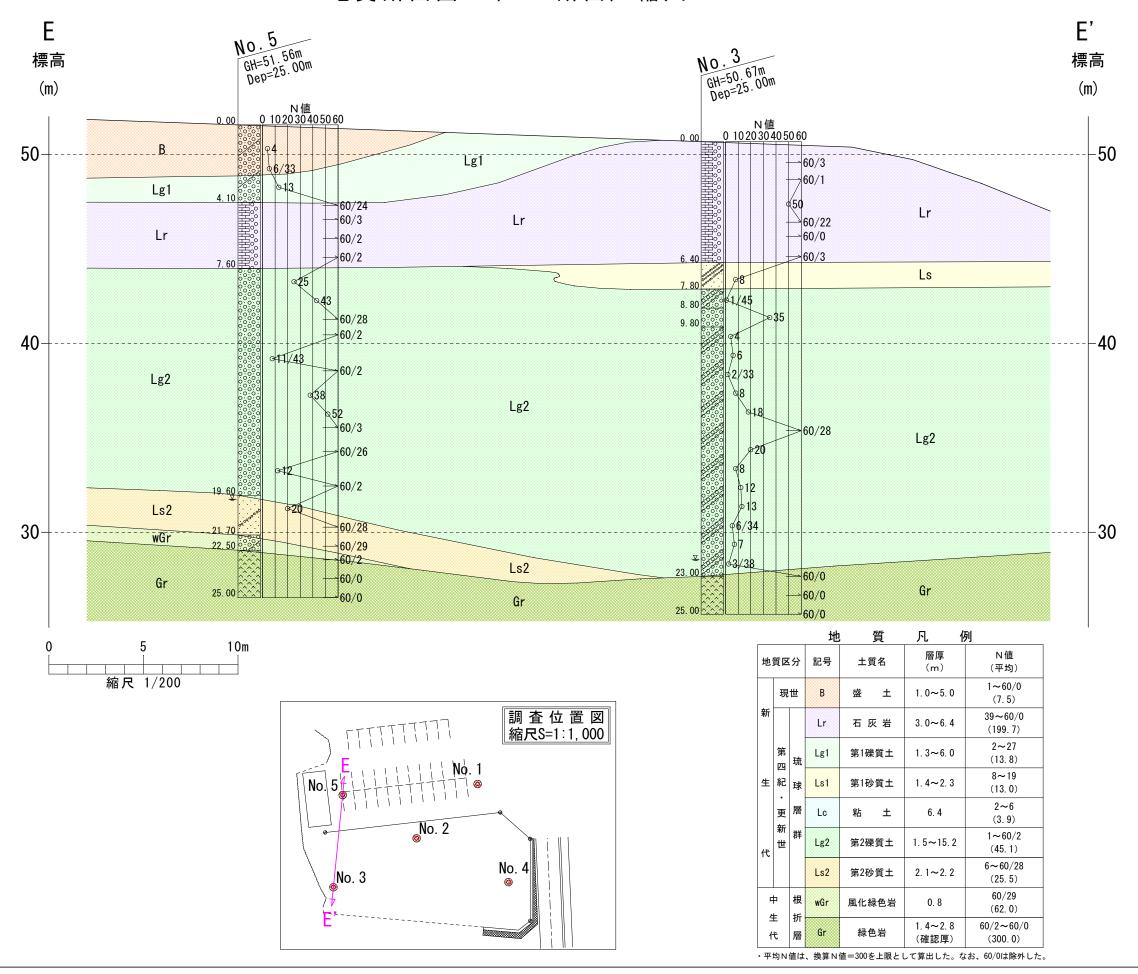




地質断面図-4 D-D' 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務 地質断面図-4(D-D'断面) 縮尺 S=1:200 D' D GH=51.16m Dep=22.00m 標高 標高 (m) (m) N値 0 102030405060 -50 60/4 60/1 Lr В Lr 60/22 Lg1 Lg1 Ls1 Ls1 Ls1 40--40 Lg2 Lg2 Lg2 60/22 60/0 --- Gr -30 60/0 Gr 60/0 凡 質 Gr 層厚 記号 地質区分 土質名 (平均) 10m 1~60/0 現世 1.0~5.0 (7.5)39~60/0 縮尺 1/200 石 灰 岩 3.0~6.4 (199.7)調 査 位 置 図 縮尺S=1:1,000 2~27 Lg1 第1礫質土 1.3~6.0 四 琉 (13.8)生紀球 1.4~2.3 第1砂質土 (13.0) 2~6 更層 6.4 粘 土 (3.9)新 1~60/2 No. 2 Lg2 第2礫質土 1.5~15.2 世 (45. 1) 6~60/28 第2砂質土 2.1~2.2 (25.5)No. 4 No. 3 60/29 中 風化緑色岩 (62.0)生 1.4~2.8 60/2~60/0 (確認厚) (300.0)・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務 地質断面図-5(E-E'断面)縮尺 S=1:200

地質断面図-5 E一E



令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務 地質断面図-6(F-F'断面)縮尺 S=1:200

地質断面図-6 FーF

